

<b>あるヘラジカの物語</b> 星野 道夫/原案 鈴木 まもる/絵と文 あすなろ書房 ¥1,500  ヘラジカの2頭のオスは、激しい戦いの末、角と角がからまって外れなくなってしまいました。戦いに疲れた2頭は、オカガミの餌食になってしまいます。星野道夫の写真から発想を得た筆者が、大自然の厳しさと命のつながりを描きます。	<b>少女たちがみつめた長崎</b> 渡辺 考/著 書肆侃侃房 ¥1,600  被爆体験を継承したいという思いを込めて、ドキュメンタリー番組の制作を続ける高校生。学徒動員された職場で被爆した女学生。世代を超えた少女たちが、インタビューや当時の日記を通して戦争を考えます。	<b>はすれ者が進化をつくる生き物をめぐる個性の秘密</b> 稲垣 栄洋/著 筑摩書房 ¥800  生き物は、進化の過程で「はすれ者」を作っていました。それは、生命をつなぐための戦略だったのです。では、私たち人間はどうでしょうか。生き物と人間を重ねながら、個性の秘密を探ります。	<b>13歳からのアート思考</b> 「自分だけの答え」が見つかる 未永 幸歩/著 ダイヤモンド社 ¥1,800  優等生の兄、朔と、何かにつけて反抗的な弟、新。二人が巻き込まれた事故で、朔は視力を失います。盲学校を卒業して帰ってきた朔がブラインドマラソンを始めたことで、二人の関係にも内面にも変化が生まれます。	<b>朝と新</b> いとう みく/著 講談社 ¥1,500  すばらしい作品って何?20世紀に生まれた6作品を切り口に、自分なりの見方で世界を捉え、探し続ける思考の過程を体験していきます。ページを開けば、あなたも生徒のひとり。美術教師である著者のユニークな授業の始まりです。

<b>ときめく心</b> 中学生の相聞歌 桔梗 亜紀/著 水曜社 ¥1,500  相聞歌とは、恋の短歌のこと。著者が受け持つ国語の授業で、ごく普通の中学生がときめく心を詠み上げます。作者は秘密。恥じらい、胸キュン、空回りに、教室中が沸き立ちます。「スギって気持ちはみんないつしょ☆」	<b>みつきの雪</b> 真島 めいり/作 牧野 千穂/絵 講談社 ¥1,400  明日、高校を卒業する満希と行人。出会いは小5。手袋をきっかけに打ち解けたふたりは、互いに特別な存在になっていました。離れ離れになる最後の帰り道、今日までの記憶をめぐります。	<b>保健室経由、かねやま本館。</b> 松素 めぐり/著 講談社 ¥1,400  あるはずのない「第二保健室」。その床下は不思議な温泉につながっていました。悩みを抱えた中学生が、それぞれに合う効能の湯に導かれて心と体を癒していく湯治場で、何が起ころうか?	<b>明日をさがす旅</b> 故郷を追われた子どもたち アラン・グラツツ/作 さくま ゆみこ/訳 福音館書店 ¥2,200  1939年ナチスに追われ、ドイツからキューバへ逃げるヨーゼフ。1994年自由を求め、キューバからアメリカを目指すイサベル。2015年シリアの内戦から逃れ、ドイツに向かうマムード。時代も国も違う「難民」の過酷な旅を丁寧に描いています。	<b>わたしの全てのわたしたち</b> サラ・クロッサン/著 最果 タヒ/金原 瑞人/訳 ハーパー・コリンズ・ジャパン ¥1,700  グレースとティッピは、結合双生児の女子高生。友情も恋も、いつもふたりはひとつの物語でした。その時までは……。詩人である訳者の散文詩が、主人公グレースの感情と思考をたどります。

児童書を豊富に取り揃えた

### 子ども読書室

幅広い分野の児童書を揃え、各種テーマに沿った本の特別展示、掲示の工夫をして、子どもや大人が本を手に取るきっかけや本を選ぶ際の支援をします。また、本の紹介や調べものの支援を行い、子どもと本との出会いを応援します。

◆編集・発行 愛媛県立図書館(読書振興グループ)  
 TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454  
<https://www.ehimetosyokan.jp>  
 掲載については出版社の許諾を得ています。無断で転載することを禁じます。



### 子どもの読書に関する相談窓口 子ども読書支援センター

地域の読書活動を支えるキーステーションとして、また、子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、みなさんの相談に応えます。子どもの読書に関することなら何でもお問い合わせください。

# たんけん 探検しよう!

## ほんくに 本の国

### 子どもにおすすめの本 2021

#### 愛媛県立図書館

愛媛県イメージアップキャラクター  
みきゃん

愛媛県  
こみきゃん

愛媛県  
ダークみきゃん

昨年1年間に発行された子どもの本の中から、幼児から中高生までを対象に、50点を選びました。  
家庭での読書や、学校での読書指導の参考になれば幸いです。  
価格は、令和3年3月現在の本体価格です。

### 幼児

<b>かくれているよ 海のなか</b> 高久 至/しゃしん かんちくたかこ/ぶん アリス館 ¥1,400  かくれているよ 海のなか。高久至による絵本。京の都に鬼が現れ、屋敷の姫がさらわれます。知恵と勇気のある6人が立ち上ります。色や形、模様のそっくりな場所に隠れたり、穴やすき間に入ったり……あれ、どこにいるのかな? 写真をよく見て、一緒に探してみてください。	<b>やさいのおにたいじ</b> つるた ようこ/さく 福音館書店 ¥900  野菜たちががくれんぱしています。色や形、模様のそっくりな場所に隠れたり、穴やすき間に入ったり……あれ、どこにいるのかな? 写真をよく見て、一緒に探してみてください。	<b>ぼくといっしょに</b> シャルロット・デマトーン/作 野坂 悅子/訳 ブロンズ新社 ¥1,400  おつかいを頼まれたぼく。お店を目指し、怖い森、ごつごつの岩山、深い海を行く大冒険の始まりです。ぼくにとって、庭は冒険の舞台。絵に隠された物語も楽しみたい、オランダ人作家のロングセラー絵本です。	<b>みずたまり</b> アデレイド・ホール/さく ロジャー・デュボアザン/え こみや ゆう/やく 好学社 ¥1,600  一羽のめんどりが見つけたみずたまり。中をのぞくと、なんともめんどりが落っこちていました。他の動物たちに助けを求めるのですが……。水面に映った自らの姿に大慌てる動物たちが愉快な、繰り返しが楽しい絵本。	<b>はやくちことばのさんばみち</b> 平田 昌広/文 広野 多珂子/絵 アリス館 ¥1,400  女の子とお父さんは、散歩中に見つけた植物や生き物で早口言葉を唱えます。カタバミ、アブラナ、ホトトギス……。口づさみたくなる言葉遊びが、読者を身近な自然へぐっと近づけます。巻末に動植物のクイズも掲載。

<b>トラといっしょに</b> ダイアン・ホフマイアー/文 ジェシー・ホジスン/絵 さくま ゆみこ/訳 徳間書店 ¥2,000  美術館でトラの絵を見たトムは、大きなトラの絵をかきました。その後トムの部屋にトラがやってきて、散歩に誘います。暗闇が怖くて、初めは戻込みしていましたが、夜の冒險は、トムの心を強いていきます。	<b>ねこはすっぽり</b> 石津 ちひろ/文 松田 奈那子/絵 こぐま社 ¥1,000  「ごりりーん」「のびーん」「ふわわーん」ねこの自由で幸せな暮らしぶりを、軽やかなオノマトペと伸びやかな線、鮮やかな配色の絵で表現した絵本。文の石津さんは愛媛県出身。一緒に声に出して読みたい一冊です。	<b>まほうのおまめだいすのたび</b> 松本 春野/文・絵 辰巳 芳子/監修 文藝春秋 ¥1,500  春、おまめは土のふとんで目を覚ました。ニヨキニヨキ伸びて、花を咲かせて、おまめはまるまる太ります。夏には緑の枝豆に、秋には茶色の大豆になります。まほうのおまめは変身して、さらに旅を続けていくのです。	<b>あめかっぱ</b> むらかみ さおり/作 偕成社 ¥1,300  朝からずっと雨が降っています。ピンポンとベルが鳴ったので、なおちゃんが玄関に出てみると緑色のかっぱがいました。そして、お母さんがお出かけの間、かっぱとお留守番することになりました。どんなお留守番になるのでしょうか?	<b>ありがとう、アーモ!</b> オーゲ・モーラ/文・絵 三原 泉/訳 鈴木出版 ¥1,500  とろーりとろとろ、アーモが特製シチューを作っています。おいしそうなおいに誘われて次々やってきた人たちに分けてあげると、おなべの中はどんどん減っていく……アーモのタゴはんはどうなるのでしょうか?

